



第99号

2015.3.25 発行
(平成27年)

ユウパリコザクラの会
事務局

〒068-0412

夕張市鹿の谷東丘町 3

水尾君尾方

TEL/FAX 0123-52-3306

携 帯 090-8632-8928

E-mail
kozakura@m8.dion.ne.jp

ホームページ
<http://yuparikozakura.org/>

二〇一四年十一月二十九日、北海道大学において北海道高山植物保護ネット二〇一四年度フォーラムが開催されました。そのフォーラムに参加したので報告します。

当会藤井純一代表の司会により進められ、最初の若手研究者による研究事例紹介では、北海道大学大学院環境科学院の小林勇介氏より「無人自動自律飛行機(UAV)を使った登山道荒廃調査」が紹介されました。近年急速に普及しているUAVを使用し、大雪山黒岳石室から赤石川までの登山道浸食について解析していました。プロペラ四枚のラジコンヘリのようなUAVには小型カメラが搭載可能で、衛星写真や航空機による空撮よりも解像度の高い画像を取得することができ、その画像を用いることにより、cm単位という詳細なスケールのデータで登山道浸食の解析が可能であり、今後の登山道荒廃の管理に有効な手法であることが示されていました。今までは考えられなかった新しい技術が応用されており、今後のさらなる研究が期待できる分野であると感じました。

次の研究事例紹介では、同じく北海道大学大学院環境科学院の水永優紀氏より「高山植物群落の開花フェノロジーと結実成功ーマルハナバチ媒とハエ媒の比較ー」が紹介されました。高山植物

の結実成功のために送粉昆虫は非常に重要な役割を持ちます。ハチと比べて生活環の短いハエが訪花する植物の開花パターンや結実成功の季節変動は、ハチ媒花植物と比べて小さいと仮定し、各媒花植物の開花量や訪花昆虫の訪花頻度、結実率を調査していました。調査の結果、ハチ媒花植

「お花畑は、いま・2014」

高山植物保護ネット市民フォーラム開催

会 員 杉 浦 晃 介

物の開花パターンとマルハナバチの訪花活性は関連性が強いのに対し、ハエ媒花植物の開花パターンとハエ類の訪花活性は季節的な関連性が低いと結論づけられていました。私たちが普段山を登りながら花を見、それに訪れる昆虫を見ていますが、その世界ではハチとハエという、似ているようで似ていない昆虫と植物による複雑なシステムが作られていることをこの研究から気づかされました。

講演では、北海道大学大学院農学研究院の愛甲哲也教授より「世界遺産富士山の現状と大雪

山登山道の管理水準について」の発表がありました。世界遺産となった富士山では適切な管理や利用について課題が山積しているようです。世界から認められたからもう良いというわけではなく、そこが一番大事で、自然や人を相手にどう管理していくかが重要であると感じました。

梅沢俊氏からは「ブータンとネパール探訪の際に発見した新種の青いケシの紹介」の他多種多様な植物をダイジェストで紹介していただきました。映写が切り替わるたび、会場からは感嘆の声があちらこちらから聞こえていました。梅沢氏の講演を聞くと、植物の見方を学ばされます。フォーラムの後半では、各加盟団体より年度の活動が報告されました。当会からは森林パトロールやエゾシカ対策の進捗、産成地域子ども交流事業の取り組みのほか、創立二十五周年記念事業として実施した活動を報告致しました。

各団体、様々な問題に向き合い、立ち向かっています。今後も各団体と連携して、北海道の高山環境や高山植物の保護に努めていきたいと思えます。



フォーラムパンフ

事務局 水尾 君尾

会員 伊藤 泰弘

二度目の夕張岳 春山パトロールに想う

会員(東京) 仲前 聡

今年、国立公園指定八〇周年を迎えた大雪山において、パークボランティア活動に長い間奉職されている岡花博文氏(前大雪山国立公園パークボランティア連絡会々長)を講師にお招きしてリーダーとしての人材育成に役立つ内容の学習会となりました。

当時の環境省は、一九八八(昭和六三)年十月、道内初となるパークレンジャー(当時の呼称 後改称)を大雪山で募集し、その一期生五〇名を組織化したのが始まりでした。

各地のメンバーを束ねるのは難しかった組織の先頭に立たれ、環境省の管理官と共に年間活動予定を割付け、岡花博文氏はいつもリーダーで活動しました。

安全登山研修会開催

2014年12月13日 清水地区公民館
「大雪山の魅力を語る」岡林 博文氏
「夕張岳・安全登山 考察」秦野 公彦氏

だが、みんな輝いていましたね。
この頃はコザクラ会発足と重なり、私は大雪山の経験を夕張岳に活かせたらいいなあーと何時も思っていました。

今回の研修会で岡花博文氏は、パークボランティア新人講義と等しく丁寧に写真を使って、海外の山岳地帯には見られない日本の山の美しさを紹介しました。氏の足跡から更に本州の山より北海道の山々は魅力があると。

それは何より四季の美しさ、多彩な景観、高山植物の多様性と種の多さ等「大雪山は世界遺産」になる財産であることを再確認し、ボランティア活動の継続の大切さも教えられました。

秦野公彦副代表からは「夕張岳・安全登山考察」と題して、今年度の活動、山のパトロールを省みて、登山装備について話しました。

登山道では足を踏み外し転倒したり、木道で転ぶ、熊出没など登山者への注意喚起する話もありました。

当会は新陳代謝が行われています。新年度の活動が楽しみです。

今回の研修会で話された中から特に興味深かった内容について所感を述べてみたい。

まずは前者の大雪山の方で印象深かったのは岡花さんが古希を迎えてから百名山を踏破した話。一度登ったことのある山でも再度登っている。二・三年で百山を登り切ったのは、スイッチオンだ。人はスイッチが入ってしまったと止まらないようだ。次に印象に残ったのはハイマツの話。ハイマツと高山植物の好関係や紅葉時期にはつきりとわかるナナカマドとの棲み分け関係。ハイマツは他の植物から嫌われていると聞いたことがあっただけに、「そうなんだ。ハイマツって良い奴なんだ」と感心。

次は後者の安全登山の話。基本的な装備についての話を中心。基本に戻ること大切なこと。他の登山者の荷を背負うことを想定し大きなザックを心がけている話には参考になった。もつともその前に、重いザックを背負うだけの筋力を付けねば。話は脇道にそれますが幻灯機じゃなくてスライド映写機を使っている説明。今頃はパソコン



大雪山の魅力を語る 岡花氏

とプロジェクトの時代。その中でスライド映写機とは、「はい、次お願いします。」「カシャ」と微笑ましい。

自分で経験していないことを諸先輩から聞くとは疑似体験だ。いつか必要なその時に話がよみがえってくる。これからも経験豊かな諸先輩からいろいろな話を聞いて行きたい。

一日目の三月二日は、朝のうち霧が出ていたものの一日を通してほぼ快晴。晴れの天気。気温が上がって、ヒュッテ前の雪が溶けるほどです。林道では路面の雪こそ縮まっていますが、斜面に上がって遠目で前岳だけでも眺めようと思っても、地面まで踏み抜くほど雪が腐っており、今年も冬は終わりかなと思われれます。それでも前岳はしっかりと雪をたたえ、青のキャンバスに輝いています。

ところが二日目の二日、目を覚ました五時から既に雪が降り始め肌寒い始まり。西から低気圧が近づいていて、崩れることは前もって解っていたとはいえ昨日の晴れが恨めしい。六時過ぎ、スキー六人、スノーシュー一人、ワカン一人(僕)の八名が、沢から望岳台を目指して歩き始めます。ワカンの僕は最初こそそれほど埋まらずに進めましたが、まもなく深雪。沢筋は深雪でひどい目に遭うので尾根に離脱。しかし今度は、尾根の雪がクラストしておりスキー組が難儀します。そこに急坂も相まって足が前に出ない人も。

急坂が一段落して、あと標高一五〇m程度で望岳台に至るかと思う辺りから、弱層の斜面が多くなってきました。踏むと硬い雪の板が割れ、ひどいところは踏み抜いた足が後ろに滑ります。直ちに雪崩れそうな雰囲気ではないもののここに深雪が降り積もり、そこをさらに誰かが踏めば雪崩の危険もありそう。望岳台直下のオープンゲレンデでは、さすがに雪崩の危険を考慮して樹林帯の尾根に退避して登りますが、今度は堅雪でこれまた別の苦行が。その苦労のいかいあって九時一〇分ころには望岳台まで到達するも、その苦労を見ていないふりをしているのかとくガスと風の望岳台。雪崩と遭難の危険性から、ここでパトロールを中止し、藤井隊長より撤退命令が出されます。牛乳のように真っ白なガスの向こうにあるだろう夕張岳は、今年も見られませんでした。

下山はスキー組とそれ以外の人でスピードが違いため、若干の差はあったものの、一時には全員ヒュッテに戻ってくる事が出来ました。

僕がこのユウパニコザクラの会に関わったキツカケは、国土計画による夕張岳スキー場建設の阻止から始まる歴史を聞いたところでした。僕は常々、里に住む人あつての山である、全国の山を登っていて感じます。実際ボランティアたちを含めた里の住人たちの力で夕張岳が夕張岳で在り続けている事実だけを見てこそ言えるでしょう。

財政学者の保母武彦教授は二十周年会報で述べておられます。この運動が夕張岳の自然を守り財政破綻を軽減した、先見性のあるものだったと。もしこの運動がなければ、この日パトロールしてきた場所は荒れたスキー場跡になっていたかもしれない。牛乳のように真っ白なガスが晴れてもありのままの夕張岳を拝むことができなかつたかもしれない。夕張岳を抱える夕張市は今以上の禍根を残していたかもしれない。パトロールすべき山が残っていたかもしれないのです。

夕張岳が見せてくれる事情を心に納め、また次来る時を楽しみに夕張を後にしました。

ヒュッテ雪下し

2015(平成27)年 1月24日(土)~25日(日)

土曜日の朝、最終除雪地点の処理施設に集合。事務局長に見送られ約九キロに及ぶ林道を歩き出します。気温はマイナス十三℃と冷え込んでいますが、真つ青な空が清々しく幸先の良いスタートを切ります。足はそれぞれにスキーとスノーシューです。有難いことに昨日からヒュッテに入っているメンバーのおかげで今日はラッセルがありません。

夏は鬱蒼とした林道も、冬には木の葉がすべて落ちて明るくなります。木々の合間に真つ白な山々が見え隠れし、冬季限定の展望を楽しみながら進みます。天気は上々、夕張岳ヒュッテとの再会が楽しみです。最終駐車場から先の短い急登を遣り過すと、やがて雪の中に静かに佇む赤い屋根のヒュッテが見えてきました。

藤井代表と会のメンバーが昨夜も泊つていたため、室温で屋根の雪は概ね落ちていました。昼食と休憩後、トイレの屋根の雪下ろし、

屋根から落ちた雪の除雪、ヒュッテ出入口付近の除雪などを行います。ヒュッテからも真つ白な前岳や滝ノ沢岳が見えます。こんな天気が良い日に夕張岳に登つたらさぞ素晴らしい展望に出会えることでしょう。早くも三月の香山パトロールに想いを馳せたりします。作業でたつぷり汗を

掻いたあとの乾杯ビールの美味しさは言葉では言い表せません。メンバー七名が囲炉裏を囲み、ささやかな夕べのひと時を楽しみます。夜用足しに外に出ると星が瞬いていました。月が明るく満天の星空とはなりませんでしたが、それでも十分に美しく凍つついた真冬の夜空です。

翌日も快晴となり、再び長い林道を歩き下山の途に就きました。国道から眺める真つ白な夕張岳は凜として美しく、何かしら誇らしい気持ちになりました。



新白銀橋と白銀の夕張岳

冬眠中の夕張岳ヒュッテは如何に

会員 阿部 博子



トイレ棟の雪下し



冬のヒュッテ前にて



雪の林道を行く



雪下ろしへ出発

2014 (平成26)年 パトロール等活動報告

- 森林パトロールボランティア(森林管理署と協定) 登山道補修整備清掃 6月～10月 8回実施 延55名
- 高山植物パトロール(北海道と受託協定) 6月～10月 随時実施 延81名
- 高山植物エゾシカ食害防止・希少種調査(北海道と受託協定、酪農学園大学協力) 6月～10月 随時実施 延11名
- 官民合同パトロール(空知総合振興局 主催) 6月～7月 3回実施協力 延10名

市営夕張岳ヒュッテ 管理運営委員会活動報告

- 夕張市教育委員会と受託協定 ヒュッテ管理人配置ボランティア 6月～9月(林道ゲート開放期間) 延90名
- ヒュッテ保守・トイレ尿汲取り・新炊事棟建設作業 5月～10月 延194名
- ヒュッテ冬季パトロール・雪下し・積雪調査 11月～2月 延29名

引き続き 夕張岳ヒュッテ 炊事棟建設にご支援を!!

2014年4月～2015年2月現在
150口 508,637円 ありがとうございます。
名義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会
ゆうちょ口座：02750-6-97634

会のうごき

- 2014年 11月
 - 25日 会報「コザクラだより」第98号発行
 - 29日 市民フォーラム「お花畑は、いま・2014」出席 代表ら5名 主催：北海道高山植物保護ネット
- 12月
 - 13日 安全登山研修会 開催 清水沢市民公民館 20名
 - 13日 拡大役員会開催 13名
 - 27日～28日 林道～ヒュッテ パトロール 資材運搬 5名
- 2015年 1月
 - 6日 夕張商工会議所新年交礼会 ホテル シューバロ 出席 藤井代表、事務局長
 - 8日 夕張青年会議所新年交礼会 鹿鳴館 出席 藤井代表
 - 22日～23日 林道～ヒュッテ パトロール 2名
 - 24日～25日 ヒュッテ雪下し作業 積雪調査 7名 後方支援 2名
 - 27日 市教育委員会まちづくり課訪問 平成27年度事業計画について
- 2月
 - 4日 空知総合振興局生活環境課訪問 交付金事業計画について
 - 11日 役員会開催 9名
 - 20日 資材(紅葉山～真谷地)、薪(札幌～夕張)運搬作業 3名
 - 20日 林道～ヒュッテ パトロール 2名
 - 28日 第5回日本山岳遺産サミット (東京都神保町) 出席 藤井、河村
- 3月
 - 21日～22日 夕張岳春山パトロール 11名

第5回 日本山岳遺産サミット

各認定地団体の現状報告へ出席

代表 藤井純一

去る二月二十八日東京千代田区に於いて、第五回日本山岳遺産サミットが開催され、当会から私と河村が参加した。出発時の天候が心配されたが、飛行機は予定通り飛び、一気に暖かい東京に着いた。道東は吹雪、伊豆では河津桜が満開。台湾の手前まで続く日本列島、実に多様性に富んだ国土だと改めて思う。天気図を紙面(画面)の都合で沖縄や小笠原を別の枠で描くのは良くないと、以前文化庁の人が言っていたが、そのとおりだと思ふ。日本を北から南まで一度に全体をみて考えることも必要かと思ふ。

さてサミットは、第一部に今年度認定された三地域・三団体が発表されたが、その一つ「嶽ノ峰」(くわのみね)に通じる登山道を作るボランティア活動をした長野県大町高等学校山岳部の活動が目をついた。自然保護ボランティア活動と言えば高齢者が定番となっているが、なんと学生服を着た生徒が活動内容を発表したの地元から報道陣が来ていて、きつと地方版に大きく報道された事である。

第二部は小泉武栄氏(東京学芸大学名誉



小泉武栄氏の基調講演

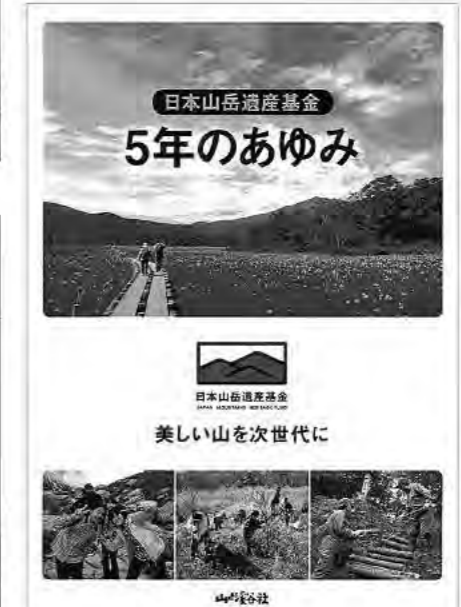
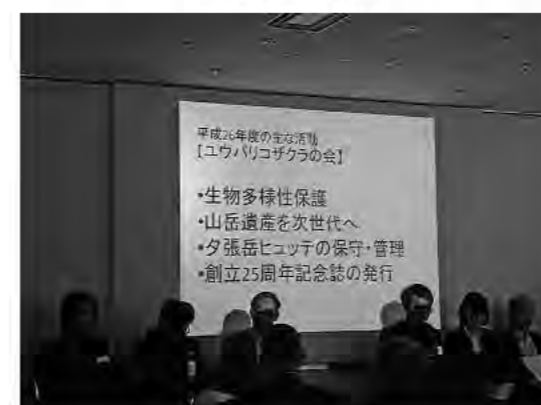
教授)の基調講演「山の魅力発見とその伝え方」で、「高山植物がなぜそこに生えるのか、なぜそこにしか分布してないのか」と「なぜ」を考えることが魅力の発見に繋がると語った。

第三部はこれまでの認定地(二〇一三年から一三地域)の各団体(一部欠席)による持ち時間三分の現状報告がなされた。全国各団体がいろいろの問題を抱えるなか、行政が活動に入り込みすぎてあまりうまくいっていないなんて羨ましい報告もなされた。

また、どこの会も高齢化という同じ悩みを抱えて若返りに苦慮しながら山岳遺産を未来に引き継ぐために頑張っているのだなあと感じた。私たちの活動も全国に誇れるもので、より一層未来の子どもたちに引き



当会の活動報告



サミットパンフ

「北海道の山メーリングリスト」様から「最新版 北海道スノーハイキング」(北海道新聞社 2014年12月22日発行)

の印税の一部 20万円のご寄付をいただきました。

当会の活動及び夕張岳ヒュッテ管理運営に役立たせていただきます。ありがとうございました。



..... 2015(平成27)年度 当面の活動予定

ヒュッテ開きのご案内

日 時:6月20日(土) 13時

開設セレモニー、安全登山祈願、ヒュッテの安全祈願、
登山シーズンが始まり一般利用となります。
二シーズン続いた、3km地点の土砂崩れは修復されました。

第一回 高山植物パトロール

日 時:6月21日(日)

出 発:午前6時 ヒュッテ前
参加希望者は事務局へお申込みください。

**第7回 旧産炭地域
子ども交流事業参加者募集!
記憶に残そうふるさとの山**

夕張岳の懐に抱かれて思いっきり自然との深い
絆の尊さを学びましょう

日 時 7月25日(土)13時
~26日(日)15時

会 場 夕張岳ヒュッテ周辺及び夕張岳

参 加 対 象 子ども・小中高生どなたでも参加
できます。(小学生以下は保護者同伴)

内 容 ヒュッテ周辺で自然と遊ぶ体験学習
夕張岳登山

参加費 無 料
保護者以外の成人参加は2千円

募集期間 7月10日(金)まで

参加希望の方は事前に事務局へお申込みください。

**会費の継続納入・ご寄付
ありがとうございます**

夕張岳の自然に興味のある方、当会の
活動に関心をお持ちの方は、ユウパニコ
ザクラの会へ入会又はご寄付をよろしく
お願いいたします。

年会費 2,000 円 家族会費 3,000 円
名義 ユウパニコザクラの会
ゆうちょ口座 02780-9-43747

2015(平成27)年度
総会開催

日 時:5月16日(土) 10時~12時

場 所:市民研修センター(清水沢宮前町)

市民講演会

**「高山植物と
エゾシカ」**

**入場
無料**

夕張岳では、エゾシカによる高山植物の食
害を防止するため、道庁、酪農学園大学、
当会と連携し、5年前から自動撮影カメラ、
電気柵、物理柵などを設置した多様な試み
が実施されています。北海道の植生研究の
第一人者であります佐藤謙氏が夕張岳とアポ
イ、知床、大雪山の現状について語ります。
皆様のご来場をお待ちいたします。

日 時 5月16日(土)
午後1時30分~3時(開場13時)

講 師 佐藤 謙
(北海学園大学教授 学術博士)

会 場 市民研修センター
(清水沢宮前町)

登山研修会開催 **入場無料**

日 時:6月13日(土) 13時30分~15時

会 場:市民研修センター(清水沢宮前町)

講 師:浴山 正久氏(元道庁 夕張北高出身)

終了後希望者はヒュッテへ移動し宿泊します
希望者は事前に事務局へお申込みください。

第一回森林パトロール

登山シーズンを迎え登山道の補修・整備・清掃、
コースロープ設置などを行います。

人手を要します。ボランティアご協力をお願いします。

日 時:6月14日(日) 参加希望者は事務局へ
申込みください。

